

はくぶつかんネット

第19号

～ GINOWAN MUSEUM ～



てんぽ ころばん
← 天保小判

その他、たくさんのお金を展示します。
お楽しみに！！

2004年

7～9月

3ヶ月に1回発行

(次号は10月15日)

発行: 宜野湾市立博物館

〈TEL〉098-870-9317

〈FAX〉098-870-9316

〈HP〉<http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>

〈HP〉<http://www.ginowan-okn.ed.jp/con7/index.html>

★ 平成16年度 企画展 ★

宜野湾市立博物館 開館5周年

世界のお金展

～～ 世界最古の貨幣から現在まで ～～

- 翁長良明氏 古銭収集50年のあゆみ (協賛) -



博物館 イメージキャラクター

察度くん と 天女ちゃん

◆ 開催期間 : 2004年 8月8日(日) ～ 9月5日(日) まで ◆

◆ 開催場所 : 企画展示室 ・ ロビー ◆

今回の企画展は、古銭収集家である翁長良明氏の協賛を得て行います。エジプト・トルコ・ヨーロッパ諸国のお金、中国・タイなどアジアのお金、そして日本、沖縄、まさに世界のお金！展示会では、世界初のお金・変わった形のお金・日本の大判や小判・そして沖縄の幻のお金などなど、様々な時代の多種多様なお金を展示します。

今回の展示会を通して、歴史・文化・お金に描かれる図柄・お金のもつ意味などを学んじましょう。さらになんと！？抽選で、古銭のプレゼントもしちゃいますー！！

多くの方々のご来館を、お待ちしております。

◆ 関連催事 ◆

オープニングセレモニー 【解説会・講演会】

場 所 : 企画展示室・ロビー

日 時 : 8月8日(日)[初日] 10時～

※ 詳しい日程や内容については、博物館まで問い合わせください。

098-870-9317

宜野湾市立博物館 開館5周年

★ “宜野湾市の文化財図画作品展” 作品募集! ★

～ 夏休みの自由課題で、宜野湾市の歴史的景観（文化財・名所旧跡など）、
伝統芸能、行事、民話、伝説を描こう! ～

- ☆対 象 : 宜野湾市立 及び 宜野湾市在住 の小学校3～6年生・中学生
- ☆画 材 : 四切画用紙。クレヨン・水彩・アクリル仕上げ等自由
- ☆出 品 : 1人1点のみ (作品は2学期の始業式に、各学校の担任に提出してください)
- ☆展示会開催期間 : 2004年 9月25日(土) ～ 10月10日(日)
午前9時 ～ 午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- ☆表彰式 : 2004年 9月25日(土) 午後3時～



平成16年度 慰霊の日(6月23日)特別展の報告

“宜野湾市と沖縄戦” の報告

去った6月23日の「慰霊の日」に向けて、毎年恒例の特別展を開催しました。

今回は、新収蔵品展との日程と重なったため、昨年よりも規模を縮小してロビーでの展示となりましたが、内容を沖縄戦の中でも宜野湾市にしばったために、とても分かりやすい展示となりました。

展示を見学した方々からは、「実際にモノがあって恐いです。写真と合わせてみるともっと恐いです。」「悲しかった。」などの感想が聞かれました。見学者からの感想文を読んで、戦争を知り平和について考えることが出来る「慰霊の日」が沖縄県にあることの意義を感じ、世界中の国々に「慰霊の日」があれば、もっと平和な世の中を作っていけるのではないかと感じました。

平成16年度 新収蔵品展の報告

“第4回 新収蔵品展” の報告

平成16年6月20日～7月11日まで、「第4回 新収蔵品展」を行いました。今回は、平成14年度と平成15年度に渡り、宜野湾市内外の方々から寄贈して頂いた資料と、収集・購入した資料、合わせて748点の中から抜粋した資料(昔の民具・運搬用具・謄写版・海洋博覧会や海邦国体のグッズ等から、10年くらい前のファミリーコンピューターの本体やカセット・黒電話・ジャイアンツの帽子等、戦前の物から戦後・昭和の物まで様々な年代の資料)を寄贈者のエピソードを含めながら展示しました。

今回の展示会で、「博物館には古い物だけでなく、新しい物もあるという事が分かりました。」「今の生活に比べると昔はとても不便である事が分かりました。」「どれもこれも懐かしさを感じ、忙しい毎日の中、心が和む思いを覚えました。」等、様々な感想を頂きました。これからも様々な資料の収集活動を行い、次回もそれらの資料を皆さんに紹介し、当時の暮らし等を後世に伝えていきたいと考えておりますので、様々な情報・資料の提供等のご協力を宜しくお願いします。



▲ 今では懐かしの黒電話

◎平成16年度 第1回講習会募集のお知らせ

“大山でターンムの植付・収穫を体験しよう”

～ 都市化が進む宜野湾市の中でも、多くの自然が残されている大山のターンム畑。
そこでは、宜野湾市の特産であるターンムが農家の方々によって育てられています。
その場所で、ターンムの植付・収穫を体験してみませんか？ ～

- ◆植付日時：2004年 9月18日(土) 午後1時～午後4時
- ◆収穫体験：2004年 12月4日(土) 午前9時～午後2時
※なお、雨天も決行します。
- ◆場 所：大山ターンム畑
※博物館に集合し、バスにて大山ターンム畑に移動します。
- ◆講 師：大山ターンム組合の方々



★要申込み、対象者あり

- 対 象：宜野湾市在住・在勤・在学者 30名
中学生以上
※申込者が定員に満たない場合は、宜野湾市外の方でも参加できます。
- 募集期間：2004年 8月1日(日)～ 8月22日(日) ※期間内の火曜日は除く。
午前9時～午後5時まで、電話にて受け付けます。
※申込み多数の場合は、抽選とします。
- 参 加 料：保険料(300円)
※植付・収穫の2回分を最初の植付の日に徴収します。
- 当日の服装と用意する物
野外での作業用服装(長そでの服・長ズボン・長靴・帽子)、雨具、水筒、タオル、軍手など

◎平成16年度 わらば一体験じゅく 第1回目の報告

“今年も、わらば一体験じゅくが始まりました”

さあ始まりました“わらば一体験じゅく”！

今年は、宜野湾市立博物館が誕生して「5年目」であり、わらば一体験じゅくも「第5期」という節目の年を迎えています。メンバーは男女共に9名の合計18名で、6月から来年の2月まで合計9回、様々な体験を行っていきます。例年より参加人数は少ないですが、少数精鋭部隊です！学校や家庭ではできないようなオモシロイ体験を通して、宜野湾市の自然・歴史・文化を学び、最終的には‘ものしり名人’になるべくメンバー全員で頑張っていきます！

さて第1回目は、「開校式&博物館見学」を6月19日(土)に行いました。開校式では初めて顔を合わせるメンバーにみんな緊張しながらも、これから始まるわらば一体験じゅくに胸をふくらませているようでした。メンバーの生き生きとした目を見てみるとこれからが楽しみです。暑いとき、寒いとき、キツイ事もありますが、みんなで仲良く1年間楽しく体験していきま～す！



▲ 常設展示見学の様子

みんな、真剣に説明を聞いていました

常設展示室のご案内

◆ 宜野湾人の顔 ◆

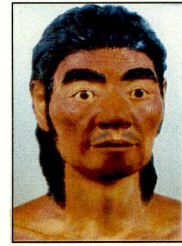
展示期間：2004年 8月9日～2004年 10月24日

常設展示『宜野湾人の顔』の展示替えを予定しています。
今回は普天間1区の方々です。明治から昭和生まれの先輩方と、小学生の顔写真を十数名分展示します。この展示は2004年8月9日(月)～10月24日(日)までの予定です。
『宜野湾人の顔』は、現在市内に住んでいる方々の紹介となっておりますが、この展示があるエントランスコーナー全体を通してみると、人類の進化やその時代時代による人の顔の移り変わりについて知ることができます。

この『宜野湾人の顔』の展示は、開館当初から市内の各自治会の協力を得て、約3ヶ月ごとに展示替えを行っております。

今回は、嘉数区の方々を紹介する予定です。

『宜野湾人の顔』の展示を見学する際には、常設展示室観覧料が必要となりますので、あらかじめご了承ください。



▲ 安座間原人

★ 語り継がれる年中行事



▲ ウークイのお供えもの

沖縄県には様々な年中行事があり、神々や祖先とのつながりを大切にする風習があります。今回は、旧暦の7月に行われる行事の中からお盆について、触れてみたいと思います。

☆旧7月13日～16日：お盆行事

お盆には、祖先の霊を迎えて最上のもてなしをします。どの行事よりも盛大に行われ、この期間は祖先の霊を、生きた人間のようにもてなしました。この時期は、ちょうど第1期の稲の収穫が終わって、次の農耕に移る農事準備にあたっています。

す。その時期の最初の満月の日に精霊を招き、前半期の豊作を感謝するとともに、次期の豊作の加護を求めてお盆行事が行われました。このように、もとは農耕儀礼として行われていたものが、のちに仏教の影響により、今のお盆行事へと変わっていきました。そして、島固有の祖先崇拜の念から祖霊を歓迎し、加護を求めるようになったということです。

○旧7月13日：ウンケー＜精霊迎え＞

お供えの準備が整い、夕方になると門の両側にトウブシ(小さな松明)を竹に挟んで燃やし、精霊を迎えます。

○旧7月14・15日

特に儀礼はありませんが、主婦は一日中食事の支度で忙しい日が続きます。

○旧7月15・16日：ウークイ＜精霊送り＞

この日は重箱料理を準備します。また、ミンヌクーといって、里イモの茎を小さく切った上にメリケン粉をまぶした物を作ります。これは、子孫がなく、弔う者のいない餓鬼にあたえるものと言われています。夜遅くに霊前の供え物をすべて下ろし、そこで線香を焚いて精霊送りをします。

以上のような行事の他にも、様々な行事が市内でも行われていますが、今では行われていない行事もあるかと思われます。そのような行事も後世まで伝えて行ければと思いますので、「あのときはこんな行事があって、こんなだったさあ。」等のお話がある方、または冠婚葬祭についてのお話がある方、ぜひ一度、博物館までご連絡ください。(大城)

入館料免除・資料館外貸出の申請について

○ 申請する場合は、手続が必要です。

博物館では入館料の免除申請、資料の貸出申請を行うことができます。
申請書の手続はそれぞれ、「入館料免除申請書」、「資料館外貸出許可申請書」に必要事項を記入のうえ、入館・貸出を希望する日の1週間前までに申請してください。

■入館料の免除申請に該当する団体

- ①教育課程に基づく学習活動として入館する学生、生徒、児童及びこれらの引率者。
- ②宜野湾市教育委員会、博物館が開催する博物館資料に関する講演会、講習会、研修会等に参加して入館する者。
- ③その他館長が免除することが適当であると認めた者。



■主な貸出資料

○収蔵品 ○ビデオ ○写真

～ あなたの家に、眠っていませんか？ ～

博物館では、宜野湾市を中心としたさまざまな生活用品や、当時の暮らしが分かる道具・写真・映像などの収集に力を入れています。

特に昭和の資料については、広く募集しております。

随時、資料の収集を行っておりますので、「こんなものがあるけど、どうかな？」と思っている方は、博物館までご連絡ください。職員がお伺い致します。

「博物館ガイドブック」について

平成15年度に、「博物館ガイドブック」を発行致しました。

主な内容は、常設展示室の展示解説や、博物館見学と移動展の案内です。

冊数に限りがありますので、市内の学校や自治会、県内の博物館や図書館を中心に配布しています。ご覧になりたい方は、博物館までご来館ください。



～ 市立博物館のロビーにて、証明書の交付を行っています ～

住民票（謄本・抄本・除票）と印鑑証明のみ、市立博物館のロビーに設置された交付の窓口にて申請を行えば発行されるという仕組みです。

★注意事項

- 1) 火・土・日、祝祭日、慰霊の日、年末年始は休みです。

※火曜日が祝祭日に当たった場合の翌水曜日や、くん蒸などの臨時休館日も、休みになります。

- 2) 午前9時～午後4時30分まで受付します。

- 3) 戸籍や身分証明書などは交付できません。

平成16年度の事業あんない

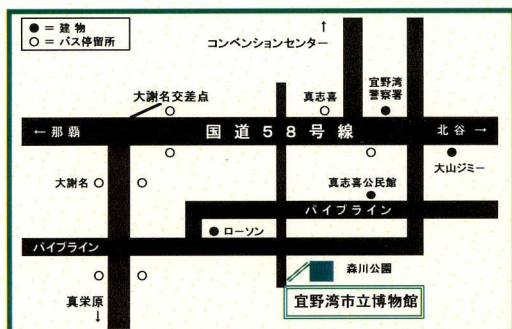
2004年4月～2005年3月

月	日	曜日	内 容	期 間
6	19	土	第5期 わらば一体験じゆく募集 (詳細は申込用紙を参照してください) ○定員:35名 / 対象:市内在住・在学の小学5・6年生 / 保険料徴収 ※要申込	※定員に達したら締切 期間:6月～来年2月の 毎月第3土曜日
8	8	日	企画展「世界のお金展 ～世界最古の貨幣から現在まで～」 ○オープニングセレモニー[解説会・講演会] 8月8日(日)10時～ / 抽選で古銭プレゼント有り	9月5日(日)まで ※入場無料
9	18	土	講習会「大山でターンムの植付・収穫を体験しよう」 ○定員:30名 / 対象:市内在住・在勤・在学の中学生以上 / 保険料徴収 ※要申込	申込みや日程など ネット3ページを 参照してください
9	25	土	第13回「文化財図画作品展」表彰式は9月25日(土)午後3時から ○博物館5周年記念として、協力者の表彰及び、寄贈資料の展示もあります。	10月10日(日)まで ※入場無料
2	20	日	企画展「冠婚葬祭 (仮称)」	3月20日(日)まで ※入場無料

※ 日時や内容は未定のものもありますので、変更に関してはご了承ください。

◎ 詳しい日程や内容については、事業開催1ヶ月前にチラシや市報、新聞・雑誌の情報欄、
はくぶつかんネットなどに掲載いたします。

◆宜野湾市立博物館の案内◆



△ 大型バスの駐車スペース有り

〒901-2224

沖縄県 宜野湾市 真志喜 1-25-1

TEL : 098 - 870 - 9317

FAX : 098 - 870 - 9316

◎ 開館日・時間

平日、土、日曜日の
午前9時～午後5時

※ 入館は午後4時30分まで

◎ 休館日

火曜日、祝祭日、慰霊の日(6月23日)、
年末年始(12月29日～1月3日)

※ その他、くん蒸による臨時休館日あり

※ 火曜日が祝祭日にあたる場合は翌水曜
日は、休館日となります。

◎ 常設展示室 観覧料

	大 人	高校・大学生	小・中学生
個 人	200円	100円	50円
団 体	150円	50円	30円

※ 団体は20名以上から

▽現在、博物館では2つのホームページを開設しております。

ホームページ① : <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>ホームページ② : <http://www.ginowan-okn.ed.jp/con7/index.html>